

国連開発計画（UNDP）と共同で設置した 「災害統計グローバルセンター」の進捗状況

東北大学災害科学国際研究所 所長補佐
情報管理・社会連携部門 社会連携オフィス 教授
災害統計グローバルセンター センター長

小野裕一

第3回国連防災世界会議で仙台に残すもの ～打ち上げ花火で終わらせないために～

- 災害統計グローバルセンター
Global Centre for Disaster Risk Reduction
- 世界防災フォーラム(仮)
World Bosai Forum (Tentative)

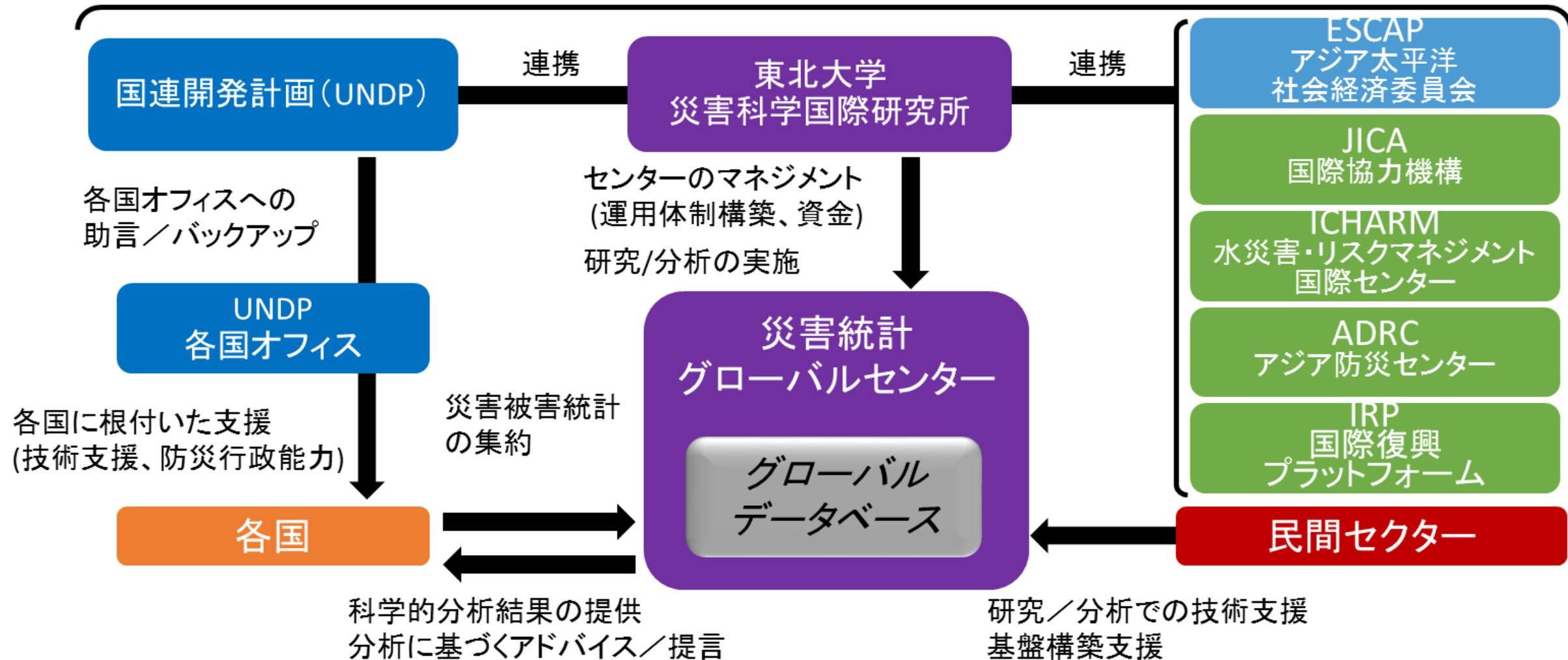
災害統計グローバルセンター設置



災害統計グローバルセンター

仙台防災枠組

持続可能な開発のための2030アジェンダ

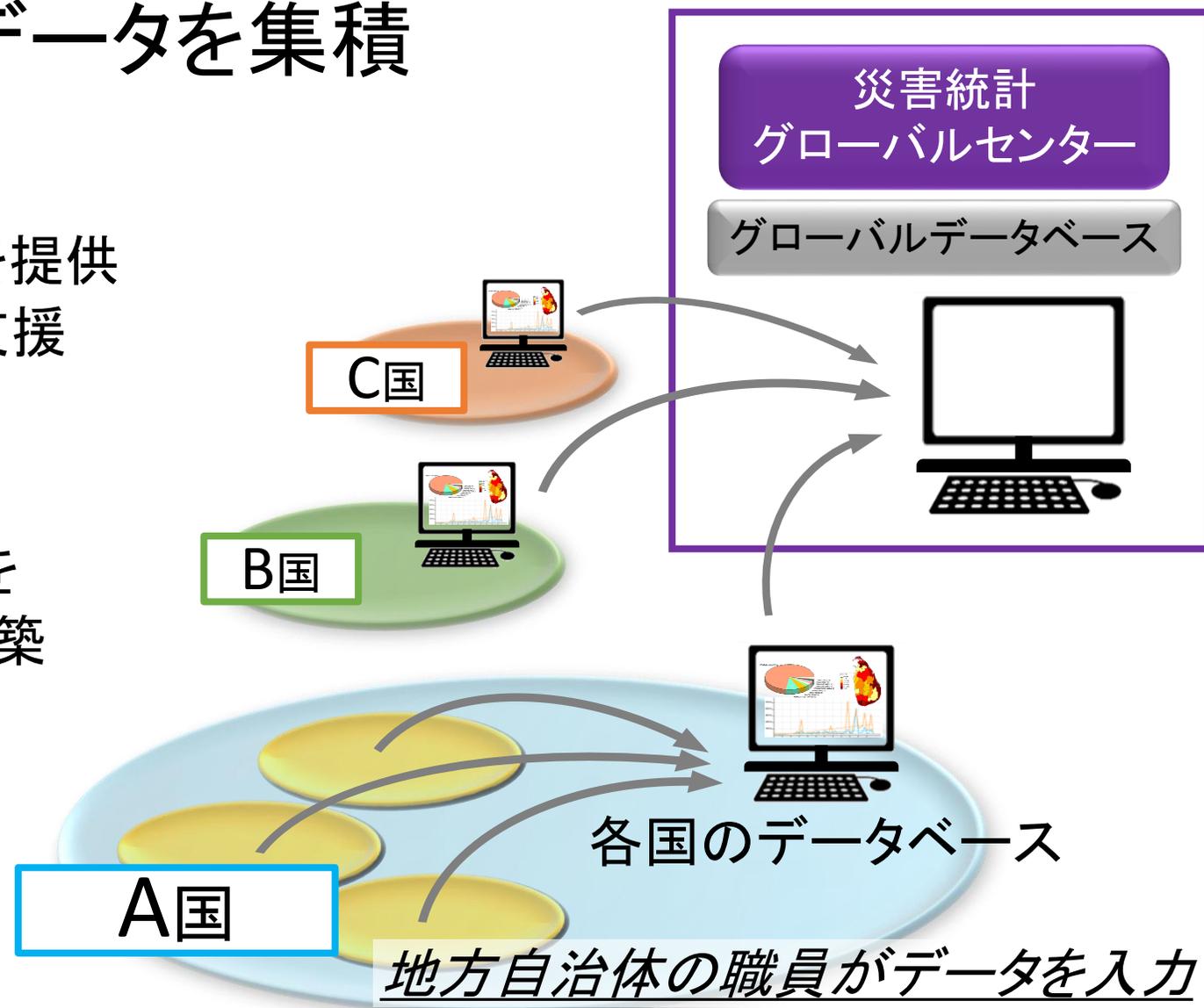


災害統計グローバルセンターの特徴

- 世界の災害被害統計データを集積
- 仙台防災枠組やSDGsのモニタリングに貢献
- 各国の防災政策立案に貢献
- 東日本大震災の統計・データの発信

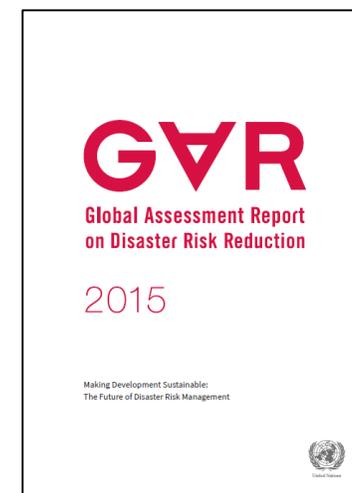
世界の災害被害統計データを集積

- オフィシャルなデータソース
 - 各国の防災担当省庁が情報を提供
 - UNDPによる各国に根付いた支援
- 自動的にデータを収集
 - 各国との合意に基づきデータを自動的に収集する仕組みを構築
 - 随時最新のデータに更新



仙台防災枠組やSDGsのモニタリングに貢献

- 各国でのモニタリング・報告ための支援
 - 統一化された報告フォーマット
 - 効果的なアプリケーションの提供
- UNISDRなどの国連機関への情報共有
 - 世界防災白書 (Global Assessment Report) 作成支援
 - 関連する国連機関のレポートへの貢献 (ESCAPのアジア太平洋防災報告書等)
 - 研究論文での研究成果発信

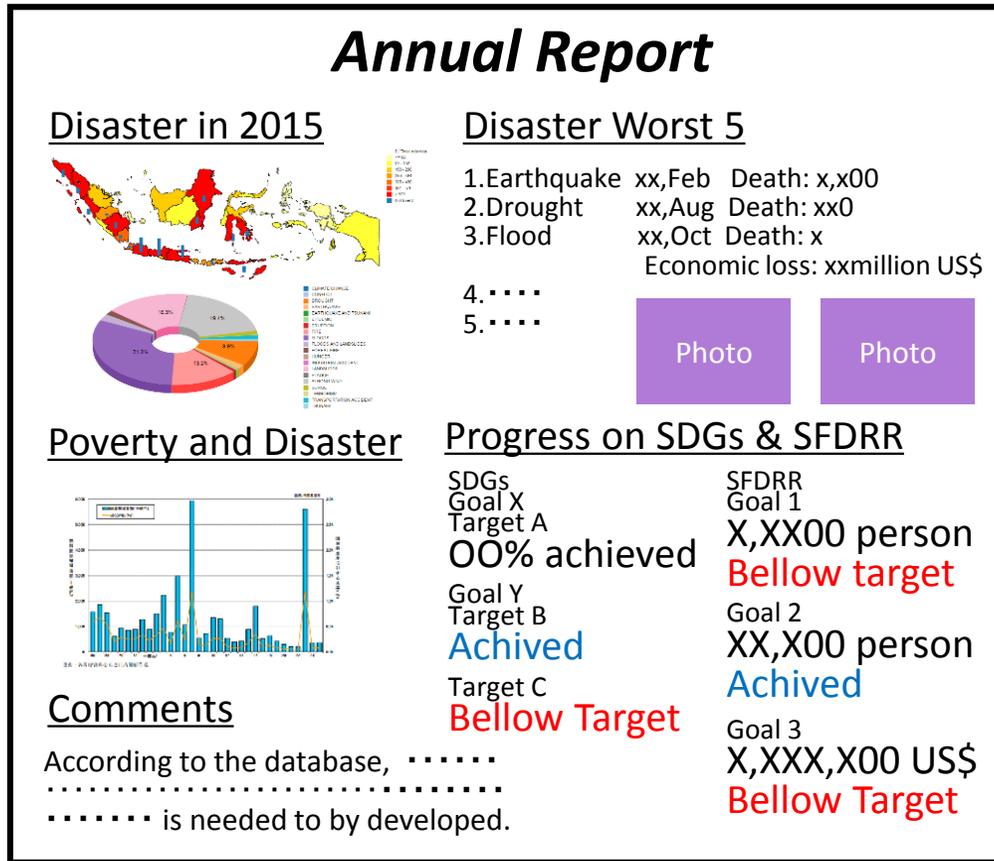


各国の防災政策立案に貢献

- 防災能力向上のためのトレーニングの実施
 - 災害被害統計収集に関するトレーニングを各国にて実施
 - 災害被害統計情報の分析に関する専門的なアドバイザリー
- 各国の防災白書作成への貢献(JICA)
 - 災害統計データベースを構築することで、各国／地域の災害の概要が簡単なレポート(Annual Report)として出力されるシステムを構築する
 - Annual Reportが出力されることで、地方自治体職員の**データ入力モチベーション**につながる

各国の防災政策立案に貢献

• 「Annual Report」のイメージ



【レポートの内容】

- 災害被害統計の特徴
 - 地図上に表示
 - 円グラフで表示
- 最大規模の災害の詳細
 - 大規模災害に関する情報
 - 写真を含めたシチュエーションレポート
- 分析結果の表示
 - 災害被害統計と人口統計(センサスデータ)等の関連解析
 - 例えば貧困と災害による死者数の関連分析
- 国際枠組における達成度の評価
 - SDGsの達成度の評価
 - SFDRRの達成度の評価

出力されたレポートを組み合わせ、
防災白書の骨格が完成する
システムを構築する

関連機関との連携を強化

• 日本国内の関連機関との連携強化

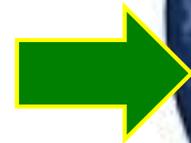
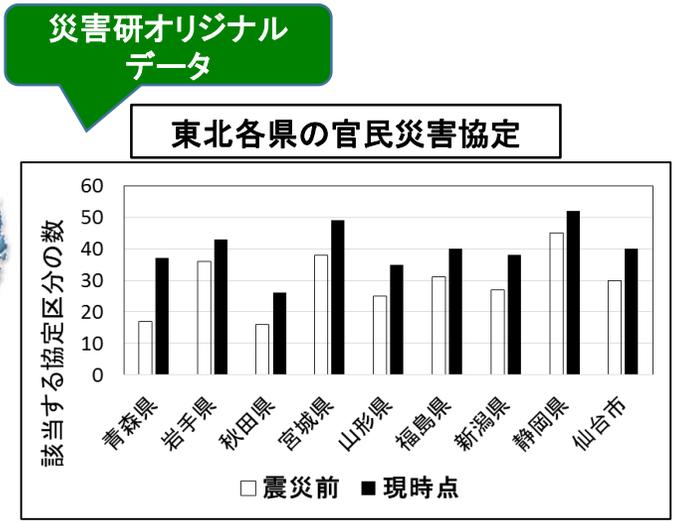
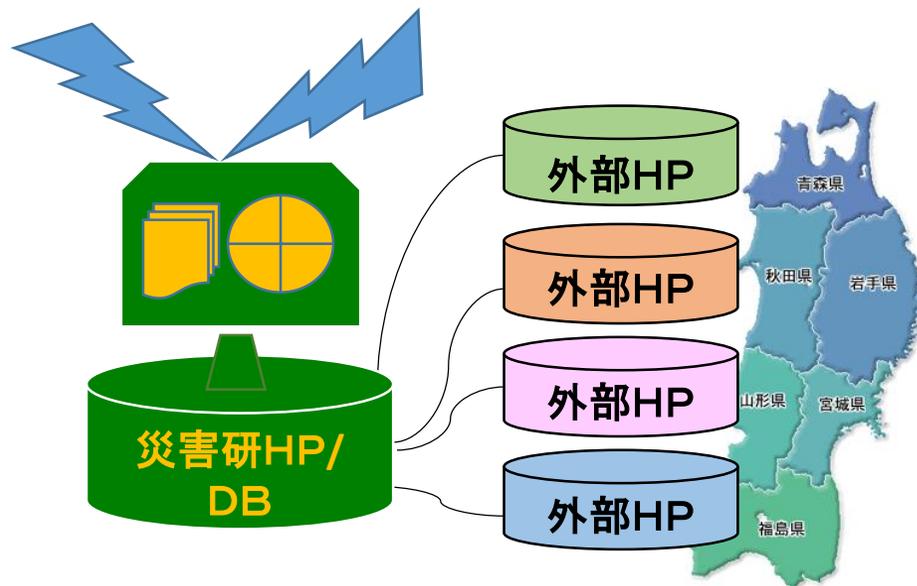
- JICA 本邦研修、技術協力プロジェクトなどのスキームを活用した
途上国における**災害被害統計に関するトレーニング**の実施
- ADRC **世界災害共通番号「GLIDE」**の仕組みを取り入れ、共通の番号で
災害の被害状況を管理
- ICHARM 水災害に関する分析のアドバイザー
地球環境情報統合融合プログラム「DIAS」との連携
- IRP 大規模災害時における災害被害統計情報の共有・連携

• 国際的な機関との連携強化

- UNISDR **仙台防災枠組への貢献**
- ESCAP **アジア・太平洋地域**におけるアドボカシー

東日本最震災の統計・データの発信

- ホームページ上で収集した統計・データを発信
 - 東日本大震災に関する被害、復旧・復興状況の統計・データを収集し内外に発信



ホームページの内容

① 東日本大震災関連統計データベース

- 国、地方公共団体、経済団体等の東日本大震災関連のデータを集約
- 日本語と英語で発信
- 集約した資料からキーワード検索
 - Google検索を活用
 - 資料の中から、該当する資料を表示
 - クリックして、関心のある資料のPDF形式の統計資料を閲覧可能

② 国内統計リンク集

- 国、地方公共団体、経済団体等が提供する統計データサイトの中でも有用なものを紹介



ホームページ データベースを検索 データベースについて データベースの使い方 国内統計リンク集 災害統計グローバルセンター お問い合わせ

災害統計グローバルセンター [ENGLISH](#)

東日本大震災関連統計データベース 試行運用中

ごあいさつ

このデータベースは、東北大学災害科学国際研究所の災害統計グローバルセンター（GCDS）が提供しています。GCDSは、東日本大震災の発生を受け、2015年3月に仙台で開催された第3回国連防災世界会議において、国連開発計画（UNDP）と東北大学により設置が合意されました。東日本大震災の教訓を広くお伝えしたいという思いを込めております。内外の皆様のご利用をお待ちしております。

1 収納データ ▶ データベースの説明は[こちら](#)
東日本大震災に関する統計データで、内外の皆様の大震災の理解の向上や研究に有用と考えられるものを、見やすい図表と詳しい出典・元データを示して提供しています。

2 統計情報の検索 ▶ 検索方法は[こちら](#)
東日本大震災に関する各種の統計データを、下記にキーワードを記入して検索することができます。

ここに検索のキーワードを入れてください。

<http://www.geje-gcds.jp/>（日本語）
<http://www.geje-gcds.jp/en>（英語）

発信する資料の中身

- 発信する資料を編集し、PDF形式で発信（2段構成）

- 統計に基づいた、図表
- 図表のポイント、キーワードを記載
- 出典元、および原資料のデータをたどることができるようにリンクあり

1段目：統計図表

統計から作成された図表を記載しています

救助等総数（5月30日現在）

	警察庁	消防庁	海上保安庁	防衛省	合計
3月11日	32名	3名	18名	19,286名	
3月12日	397名	641名	229名		
3月13日	1,631名	3,728名	28名		
3月14日	448名	238名	19名		
3月15日	1,183名	2名	24名		
3月16日	27名	-	24名		
3月17日	29名	-	1名		
3月18日 ～4月19日	2名	2名	17名		
計	3,749名	4,614名	360名	19,286名	26,707名

※各機関等による救出救助については、共同した救出救助活動を実施しているため、数については重複している場合もある。

※消防庁は被災各県の消防機関が連携して実施したものを含め、緊急消防援助隊の救助総数

出典名や原資料名を記載しています

注：本図表の原資料は、緊急災害対策本部

出典：内閣府「平成23年版防災白書」

2段目：統計図表の詳細情報

図表から読み取れることなどを記載

前項の図の詳細情報

前項の図の標題	救助等総数（5月30日現在）	
同図のポイント	救助のピークは3月13日。	
出典の詳細	資料名	内閣府「平成23年版防災白書」第1部第1編第1章（2）4表1-2-2<2011年7月>
	標題	救助等総数
	URL	http://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/h23/bousai2011/html/hyo/hyo016.htm
原資料の詳細	原資料名	緊急災害対策本部
	標題	(5) 救助活動
	URL	http://www.kantei.go.jp/saigai/pdf/201104091700jisin.pdf
キーワード	警察庁、消防庁、海上保安庁、防衛省、救助数	

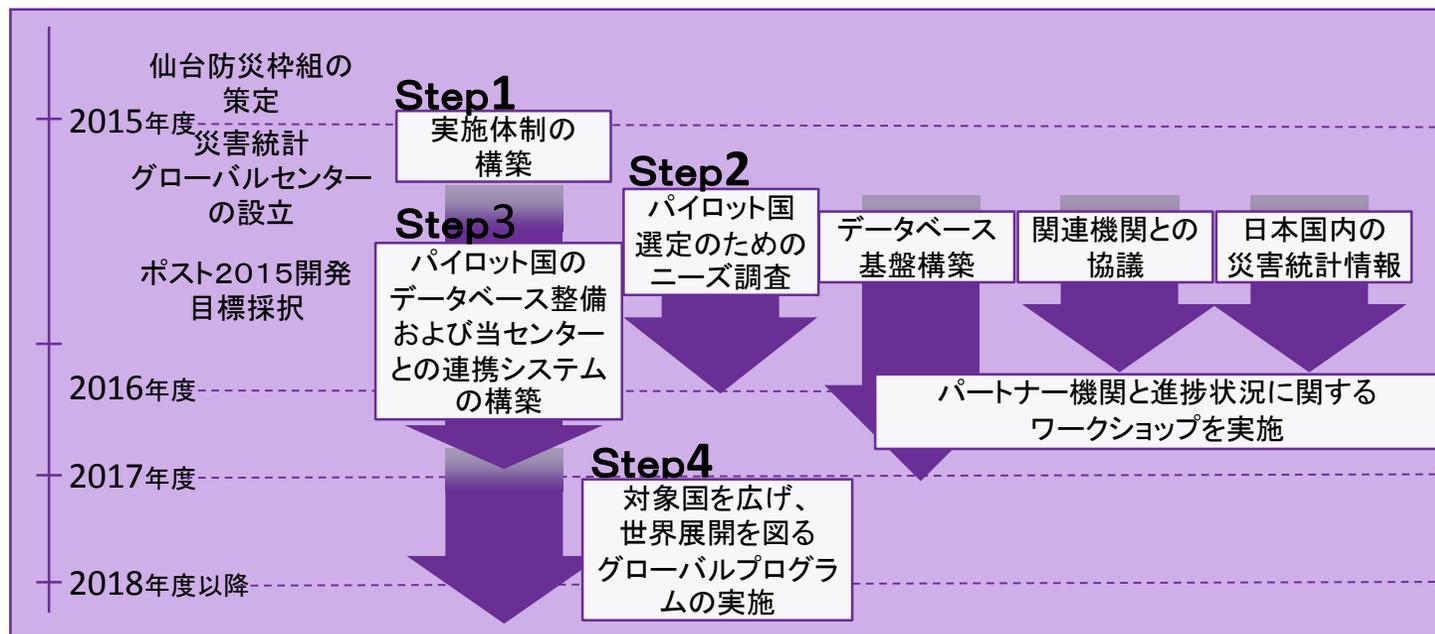
こちらから出典元のデータをたどることができます

こちらから原資料のデータをたどることができます

今後の展開

• 各国でのプロジェクトの実施

- 当センターのデータベースに関わる基盤構築
- UNISRD、UNDP、JICAとその他のパートナー機関と連携した各国への支援の具体化
- パイロット国において当センターのデータベースと連携したシステムの構築（インドネシア、ミャンマー、フィリピン、カンボジア、モルジブ、スリランカ）



順次
拡大

パイロット国の対象国を
広げ世界展開